



亡き父の面影残る旧家の古材や、この土地に古くからあった石を用いた、思い入れの深いK様の家づくり。完成から一年経ったお住まいに伺うと、そこには新しい家族の姿が！この家の快適さを証明してくれるような「ウズラが住む家」を訪ねました。

# コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.100



**ご主人** 私は当初、薪ストーブに抵抗感がありましたが、やり始めると楽しいものですね。ご近所からりんごの木をもらい、薪づくりが週末の日課になり、薪棚も自作しました。近所に畑も借りて、都会暮らしでは味わえなかったライフスタイルを楽しんでいます。



ゆったりとした土間サロンで、外との行き来も自在。



母屋の一部を解体し、横並びに新築。落ち着いた外観デザインが周囲の建物や歴史ある庭と調和する。



K様ご家族／ご夫婦、お母様、お子さん3人 ※取材日はご友人もいらっしゃいました  
建設地／長野市風間 営業／寺澤周平  
竣工／H29年4月 I C／宮下知広  
敷地面積／248.59坪 プランナー／片桐寿美  
延床面積／35.02坪 施工／平澤雄太



北窓に面した明るい印象のダイニング。階段との境には縦格子を設け、空間仕切りと開放感を両立。

**家づくりのきっかけを教えてください！**

**四季をお住まいになって、いかがですか？**

**奥様** 父が亡くなり母が一人になったこともあり、実家での同居を具体的に考え始めました。ただ、実家の母屋は増築して日が浅かったので、リフォームや敷地内新築などいろいろな案がありましたが…。母屋を一部残して仮住まいや物置としても活用しつつ、隣に皆で住む家を新築する、という計画に落ち着きました。父の思い出が残る母屋や、母が手をかけてきた和の庭にも似合うプランをご提案いただきました。

**奥様** 実は、12月にウズラの卵が孵化したんですよ！暖かい環境を好む動物で冬に生まれることは珍しく、常に25～30℃程の室温が必要なので長生きできないかなあと思っていたのですが、元気にひと冬を超えました！この家の暖かさがよく伝わるエピソードでしょう(笑)  
無垢の床も気持ち良くて、子どももウズラも家じゅう元気に飛び回っています。

**お母様** 母屋にあった床柱や式台を美しく再利用していただいたり、解体した蔵の基礎石を玄関アプローチに組み込んでいただいたり。旧来のものを良いかたちで遺していただけで嬉しいです。

**お母様** とにかく暖かく冬を越せましたよ、それも家じゅうがあたたかい。前の家では居間のひと部屋を閉め切って暖房していたので、部屋を移動するときの温度差が嫌でした。洗濯物も乾きが良くて、けいそう土の調湿効果のおかげかもしれません。



担当 平澤雄太

地域との縁を大切にされるK様は、外構もソトに開くプランに。上棟や竣工の各節目にはご近所にお披露目し、皆さんに喜ばれる家づくりができました。

## Focus on the Owner!!

以前は埼玉のアパート住まいでペットが飼えずに寂しかったというK様が、新居に招いたのはウズラの卵！幼い頃ニワトリを飼っていた経験もあり親しみがある。臆病な性格だが、雛から育てると飼い主に懐いてくれるそう！



お母様の居室は、長押を設け京壁で仕上げた畳の間。古材を再利用して、建替えの寂しさを喜びに変えた。



# ツリーデッキと 土間の家



辰野町の大通りをすこし脇に入れば、そこはもう里山近く。  
自宅の庭でキツネやシカを見かけるほど、自然豊かなK様の土地。  
この場所にぴったりの、懐の深い土間サロンとデッキが印象的なお住まいを訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.99



K様ご家族／ご夫婦、息子さん、娘さんの4人住まい  
建設地／辰野町 営業／平井政人  
竣工／H29年9月 I C／奥村瑠美  
敷地面積／139.58坪 プランナー／小川貴司  
延床面積／38.06坪 施工／林大輔

 大きな土間が素敵！  
眺めも最高ですね。

 他にもこだわりがたくさん詰まった  
プランニングですね！

 **ご主人** 町はずれの土地を選んだので、周りに人通りが少なく気兼ねせず開け放てるのがとても良いですね。暗くなっても南のカーテンは閉めずにいることが多く、夜景や高速道路の明かりがキレイに見えます。土間をどんと広く、というのは当初からの要望でした。座敷ともウッドデッキともつなげて、いろんな使い方をしたいなと思うと、この広さでしたね。

 **ご主人** 県内じゅうの展示場をすべて見学して、各展の良いところでプランに反映してもらいました(笑)。特に和風の家が好きだったので、外観デザインや太鼓梁の木組みなどプランナーの方と直接お話ししてまとめていただきました。当初はビルドインガレージなども検討し、予算の関係もあって辞めたのですが、長い目で見て作りこみすぎない設計で正解だったと思います。

 **奥様** 子どもより長い付き合いのネコも、この土間が大のお気に入り。アパート住まいではストレスで毛が抜けましたが、引っ越したらすっかり回復し、ふくよかに健康になりました。土間は、夏はひんやり、冬は薪ストーブでポカポカで心地良いみたい。

 **奥様** 私はキッチンに立った時の開放感がお気に入り。家じゅう見渡せて、正面のピクチャーウィンドウからはデッキの緑がキレイに見えます。たまに平日休みのときは、子供を幼稚園に送り出したあと、土間のチェアでのんびりするのが至福です(笑)

 **ご主人** 休日もやりたいことがたくさんあって、家で時間が楽しくなりました。アパートの時は週末はヒマで時間つぶしのために出かけていましたが、時間の使い方が変わりましたね。まだまだ家に手をかけたいことがたくさんあるので、これから楽しみです。



 土地探しからお手伝いさせて頂いたK様。山の近くの眺めの良いところに大きな土間サロンを作りたい、というご要望と一緒に叶えられました。  
担当 平井政人

### Focus on the Owner!!

土間の隣にあるウッドデッキは、コの字の建物と縦格子に囲まれプライベート感があり、脱衣所から直接行き来ができるので夕涼みにも洗濯干しにも絶好の空間。中央に配したシンボルツリーが空間を印象的に演出。



ご主人書斎は、諏訪展示場のようなシックな内装に。天井高を抑えた隠れ部屋風の設計が大人の雰囲気。



長野南展示場でヒントを得た、小上がり畳の寝室。



キッチン背面収納は木製で造り付けた。続きで勉強コーナーも設け、親子がいつも一緒にいられる。





週末はいつも友人たちとのホームパーティでにぎわう、若いご夫婦の家。人が集まる空間を望むH様の思いと共鳴したのは、土間のある家でした。「土間は、“余白”」と受け止める、H様の暮らしを訪ねます。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.98



お住まい心地はいかがでしょう？



**奥様** この冬は人生で一番快適でした！薪ストーブは、暖かさはもちろん、アナログな器具ならではの楽しさがあります。思い通りに火が点くと嬉しいし、斧で薪割りをするのも楽しくて、すっかり私がハマりました(笑)



**ご主人** お客様が来るといつもリビングで焼き肉やホットプレート料理をしますが、ニオイが残らないのが驚きです。自然素材の消臭効果でしょうか。二人とも、今までは趣味は読書でしたが、この家が来て日々の過ごし方が変わったと思いますね。



ダイニング脇にはカウンターを設け、多用途に使える。H様お好みの深いアースカラーのタイルがアクセントに。



お持ちの本をたっぷり収納できる、つくりつけの本棚。



好きなグリーンやアースカラーをアクセントに使いました。作り込みすぎず、控えめながらも個性が演出できるコーディネートがこだわりました！

担当 山岸有美子

### Focus on the Owner!!

ご主人実家のご両親を大分県から呼び寄せ、隣の敷地に平屋を建てられました。工房信州の家が2棟並び統一感ある佇まいに。「互いのライフスタイルを尊重しつつ、いつでも助け合える距離感がありがたい」とご主人。



和室は四畳半ながらも、吊り押入れが空間に奥行きを生む。床の間として小物を飾れば、暮らしに彩りを添えられる。



シンプルな切妻屋根の外観に、ワッティグリーンの玄関扉が印象的。



H様ご家族／ご夫婦と息子さんの3人住まい  
建設地／伊那市 営業／後町勇貴  
竣工／H29年7月 IC／山岸有美子  
敷地面積／80.00坪 プランナー／小川貴司  
延床面積／32.03坪 施工／赤羽和樹



仕切りのないオープンな土間サロンが印象的です！



**ご主人** 土間とリビングダイニングのつながりは、見学に行った長野若里モデルハウスがお手本。土間で何かをしようと具体的なイメージがあったわけではありませんが、“余白”のような空間があれば暮らしの幅が広がると感じました。来客が多くても窮屈さがないからたくさん人を呼べるし、多少汚れても目をつぶれる。薪ストーブの時期も重宝する空間でした。



**奥様** 1才の息子も土間で遊ぶのが大好きで、洗い出し仕上げの土間の小石や薪を熱心に研究しています(笑)。小さい頃は何度か落ちこみました。ゆっくりおしりから降りたりのぞき込んだりと、自分で学んで加減が分かるようになりましたね。



お打合せで大切にされたことは？



**ご主人** 信頼できるスタッフの方にお任せする、というスタンスを進めました。家づくり素人の私たちよりも、経験ある方に任せたい方が良い家になるに決まっている、と思ったので。何社か見学に行った中でも、工房信州のスタッフの皆さんは若いのにきちんとリードしてくれ頼もしかったです。プランはほぼ初案のとおりで進めたからこそまとまりあるデザインになったと思いますし、資金は賃貸暮らしと変わらない月々支払いで計画してもらえたので安心でした。



**奥様** 私はとにかく暖かい家、が第一希望でした。当初は全館空調の家が良いのではと思っていましたが、工房信州の家は芯から暖まるし空気もきれい。結果的に、全館空調の家より快適だなと満足しています。



やんちゃ盛りの三人兄弟が住む、千曲の家。  
この家で感じる快活さは、家じゅうに溢れるみんなの笑顔はもちろん  
家族が育てた山の木や、手作りしたステンドグラスなど  
至るところに家族のあたたかな想いが込められているからこそ。  
にぎやかなT様邸を訪ねました。



## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.97



T様ご家族／ご夫婦と息子さん3人  
建設地／千曲市 営業／上條友梨  
峻 工／H30年2月 I C／柳澤悠子  
敷地面積／95.68坪 プランナー／片桐寿美  
延床面積／41.58坪 施工／脇坂奈緒



工房信州の家の決め手は  
なんでしたか？



**ご主人** 住宅公園で、はじめは有名な大手メーカーを何社も見ました。どれも今どきのお洒落な家で、決して悪くはないけれど決め手に欠ける...とっていました。



**奥様** でもはじめて工房信州の家を見学したとき、子どもたちの反応がまるで違いました！ぬくもりある木の感触が嬉しくて、吹抜けや土間などの面白い空間に大はしゃぎ。子どもが無邪気に喜ぶ姿は、とても印象深かったです。



**ご主人** 最後の決め手は、自分の山の木が使える、工房信州ならではの取り組みです。実家の山に祖父が植えたスギの木があり、父から家づくりに使うことを勧められて。

「地元の大工なら使えるぞ」とも言われたのですが、伐採から乾燥、製材、工事までの仕組みがしっかりして実績のある工房信州なら安心だと思いました。父は伐採の日も一緒に山へ入り、工事中も私たち以上に現場を気にかけてくれ、最後には「良い家になった」と言ってくれて嬉しかったです。



お住まい心地はいかがですか？



**奥様** 子どもたちがのびのびしていますね。子ども室と吹抜けを大きな障子でつながげたので、上下で声をかけあって楽しそうに遊んでいます。土間サロンも子どもたちの居場所にぴったり。おやつを食べて汚れてもいいし、摘んできた草花や獲ってきたクワガタを置いておいても平気だし、縄跳びの練習もできちゃう。土間なら気兼ねなく何でもできて、重宝しています。



**ご主人** 私は朝、以前はギリギリまで寝ていましたが、この冬は薪ストーブが楽しみで5時起きてした(笑)。火を眺めていると、不思議と落ち着くんです。夜の晩酌も、薪ストーブでお燗をすると格別。来シーズンのために薪づくりをしたり、毎日充実しています。



ご実家の山の木が立派な柱と梁になり、住まいの中心に美しく映える。



担当 柳澤悠子

ポイントは、なんといっても家族総出で作ったステンドグラスです。賑やかで楽しい、T様ファミリーらしい仕上がりになりました！

### Focus on the Owner!!

4日間かけて手作りしたステンドグラスが、住まいのあちこちに。個室の建具にはめ込んだのは、それぞれのイニシャルがモチーフの作品。デザインも色合いも息子さんたちと一緒に決めた、思い出の一品。



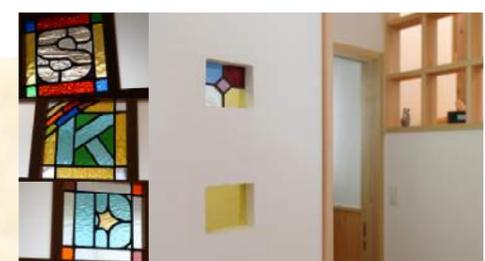
個室にこもらないようにと、一階ダイニング横に設けた勉強コーナー。三人並んでゆったり作業ができる。



黄色の三和土仕上げで明るい印象の土間サロン。木製のペンダントライトがインテリアのポイントに。



キッチンから家じゅうが見渡せる、明るい対面キッチン。





## 笑顔が集まる食卓の家



T様の住まいの中心には大きなテーブルがあり、ごはんのときも、くつろぐときも、ここで団らんの時間を過ごします。余計なものは省き、大切なものを思いやり大切にできる、メリハリある設計の心地よさを教えてくれるT様邸を訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.96



緩やかな三寸勾配の切妻屋根と、高さを抑えたスマートな外観に常緑樹のグリーンが映える。



T様ご家族/ご夫婦と娘さん2人  
建設地/長野市吉田 営業/吉川ひかる  
竣工/H29年10月 I C/宮下知広  
敷地面積/65.97坪 プランナー/片桐寿美  
延床面積/31.54坪 施工/脇坂奈緒



家づくりのきっかけを教えてください！

**ご主人** もともと住宅を見るのが好きで、雑誌やネットでよく眺めていました。工房信州の家を初めて見学したのは入籍前で、諏訪に遊びに行ったときに諏訪展示場の外観がステキだなと思ってふらりと立ち寄ったのです。いつまでも居たくなる心地良い家だなと感じました。

**奥様** 家づくりを具体的に始めるにあたり、まず土地探しをしましたが、なかなか上手くいかず一年位かかりました。良いと思った土地はすぐに売れてしまい「スピード感が大事なんだ」と痛感。担当の吉川さんから旬な土地情報をいただきながら無事購入してきたこの土地は、売りの情報を得た翌日に見に行き、すぐに予約しました！

工房信州の家を決めた理由は、無垢の床や塗り壁の質感の良さ。打合せで展示場に行くたび「ああ落ち着く」と癒されました。

**ご主人** 私にとっての最終的な決め手は、スタッフの姿勢でしょうか。マイホームへの思いが強かったので、いろいろな要望をお伝えしましたが、どんなときにも熱心に話を聞いてくれました。それと長時間の打合せのときにも小さい子どものことをよく気にかけてくれて。このスタッフの皆さんに信頼してお任せできる、と思えたことがいちばんの決め手です。実際に住み始めてみて「棚を増やしたい」など追加の要望にも、アフターサービスで手厚く対応して下さるので、心強いです。



プランニングで大切にしたいことはなんですか？



**ご主人** リビングには大きなテーブルを中心に置くスタイルを希望しました。私たち夫婦のそれぞれの実家も食卓に集まって団らんの過ごす時間が長かったので、我が家のライフスタイルに合っているかなど。気づくとこのテーブルに自然とみんなが集まって、話したり作業をしたりしていることが多いですね。その隣にはリビングとひとつつながりの和室もあり、使いやすく気に入っています。



**奥様** 私のこだわりは、3.5畳の洗濯干し専用ルーム。脱衣室の隣にあって、天気の良い日は物干しデッキに直行できてとても楽です。以前の賃貸住宅ではリビングに干すしかなく、見た目にもごちゃごちゃするのがストレスだったので…。31坪の家の中でせいたくなつくりではありますが、毎日のことなので、妥協しなくて本当に良かったです。



**ご主人** 夏になったら窓を開けてウッドデッキや庭で何をしようかと楽しみ。子どもが大きくなったら、小物を飾ったりインテリアもこだわりたい。この先がまだまだ楽しみです。



担当 吉川ひかる

「良い家をつくりたい」T様の熱い思いに応える最高のご提案を目指しました。入居宅のご案内などで、より納得してご検討いただけたと思います！



天井高を抑えた落ち着きと、吹抜けの開放感が調和する。大壁の内装がナチュラルな家具に似合う。



和室のテレビ台は作り付けの浮き棚ですっきりとしたデザイン。

玄関ポーチからウッドデッキへ連なる深い軒がファサードに表情を生み、季節の陽射しをコントロール。リビング窓はフルオープンサッシで、外とのつながりがより密になる。





# ワインレッドに染まる家



子どもたちが成人し、長年返済してきた住宅ローンもようやく終えた。ひとつの節目を迎え、この先の人生を自由に楽しもうと考えたとき、K様が決心したのは「人生で二度目の家づくり」でした。終の棲家を積極的に楽しむ、K様の家づくりを伺いました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.95



K様ご家族／ご夫婦と娘さん2人  
建設地／岡谷市長地 営業／大池真穂  
竣工／H29年9月 I C／奥村瑠美  
敷地面積／66.27坪 プランナー／三澤かおり  
延床面積／49.34坪 施工／赤羽和樹

**ご主人** 玄関脇の土間サロンは、お客様を気兼ねなく通せて重宝しています。仕事関係の来客も多いですが、土間は居心地が良く打合せもはかどるような気がします。来る人が皆家に興味を示すので、展示場パンフを常備して、来る人来る人に紹介していますよ(笑)

**奥様** 私は仕事で帰りが遅いことが多いですが、角を曲がって我が家の灯かりを見ると、一日の疲れが癒されるようでホッとします。窓から漏れる光のあたたかさ、昔の家ではなかった新鮮な感覚。この家を建てて良かったなあと感じる瞬間です。



座椅子、ダイニングチェア、キッチンと、差し色のワインレッドがスパイスの大人の空間。



担当 奥村瑠美

ご家族それぞれに居心地のいい場所を設けながら、皆が集まるリビングにはK様らしい明るいメインカラーの「赤」をベースにコーディネートしました。

### Focus on the Owner!!

音楽好きのご主人は、真空管アンプでレコードを日常的に楽しまれており、取材日も山口百恵やサザンが家じゅうに響きました。珪藻土壁は、その無数の穴で音の反響が抑えられ、音がキレイに響くという効果も！



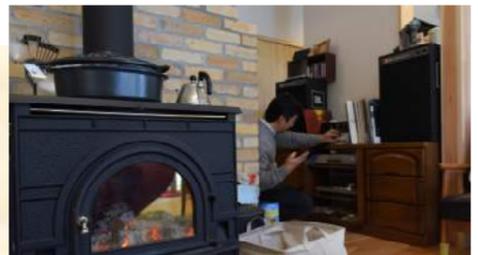
娘さんが選んだ赤のキッチンがキーカラー。背面収納は一部が可動式の作業台で、皆で料理するときにも重宝。



玄関ポーチと合わせた大きなガレージが外観に表情を加える。



住まいのそこかしこにくつろぎの居場所が。個々の時間にもつながり合える空間は、大人の暮らしにも心地良い。



**家づくりのきっかけを教えてください！**

**奥様** 昔の家はとにかく隙間風が寒かったですね。自分たちがこだわって建てた家ではないので、さほど愛着もなく、不満ばかりが溜まっていました。土地も国道沿いで狭く、車が通るたびに家が揺れるような場所で、土地自体への不満もありました。

**ご主人** その家は私が20代半ばで購入した中古住宅で、住宅ローンをやっと完済したところでした。30年間払い続けた住宅ローンでしたが...いざ終わってみると、物足りなさを感じるようになったのが正直な気持ち。今度は自分の思いを込めた納得の家づくりをしたい、そうすればローンという張り合いがまたできて、仕事も余暇ももっと楽しめると思ったのです。

**奥様** 住宅展示場へ行ったのは、スタンブラリーで景品がもらえるから、という軽いきっかけでしたが、工房信州の家の考え方にびったり共感できて話が進みました。機械頼みの他社とは一線を画すエアバス工法の仕組みも納得でき、空間を無駄なく使って家族のつながりも感じられる広がり間取りも魅力的でした。家じゅうをルンバに掃除してもらうにも最適です(笑)

**お住まい心地はいかがですか？**

**奥様** とにかく、あったかい！この冬は、職場に行くと皆「今朝は寒かったねー」と共感しあっているのに、私は話についていけず困りました(笑)。それと、キッチンの使い勝手がとてもよく、娘が友達を呼んでお菓子作りをしたり、料理の時間を楽しくするようになりました。



# 野球少年が惚れた、 団らの家



野球大好き一家のH様邸は、下の息子さんが中学生になってからの家づくり。周りからは「子どもが小さいうちに建てなかったの、遅いね」と言われたそうですが、子どもの思いを反映した家づくりができて本当に良かった、と話されます。「将来自分が家庭を持ったら、もう一軒工房信州の家を建てたい」と言うほどに工房信州の家に惚れ込んだ野球少年と、そのご家族の家づくりストーリーです。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.94



**ご主人** まだ一年ですが、心から落ち着く、包み込むような家だなと思います。初めての家づくりで要望が多くありましたが、スタッフの皆さんが我が家に大切な道筋を見失わずに助言して下さったおかげ。客の言いなりではない、頑固なスタッフ陣でした(笑)。

**奥様** 家に興味のなかった主人も、この家できて本当に嬉しいみたい。一度は、飲み会帰りの深夜に知人を連れ込んで見せびらかしていたことも。皆でいつも薪ストーブの前に集まり「良かったねえ」と話しています。



コーディネートテーマは「カフェ風インテリア」。玄関正面はタイル調のアクセントウォールを設けて、おもてなしの装い。



キッチン背面は魅せる飾り棚で、調味料もオシャレに！



リビング横の奥様寝室は、畳敷きの小上がり。開放的すぎないよう小窓を並べた。小物置きカウンターも便利。



息子さんとともに選んだ太鼓梁が吹抜けの中心に。一家の団らの見守っているよう。



営業 赤沼悟史

H様の思いを最後までお聞きして形にし、ご家族皆さんから「1年住んでも何の不満もない」と言って頂きました。満足の家づくりをお手伝いします！

### Focus on the Owner!!

野球コーチのご主人と、野球観戦好きの奥様と、青春を野球に賭けた三兄弟。野球モチーフの小物がカフェ風インテリアのあちこちに。木工体験で家族で手づくりしたエアバス引き子はバッド型で「BASEBALL」の焼き印が！

白と木目のツートンカラーでまとめたメリハリある外観が目玉を引く。



H様ご家族／ご夫婦と息子さん3人  
※ご長男は一人暮らし中です  
建設地／岡谷市長地 営業／赤沼悟史  
竣工／H28年11月 I C／奥村瑠美  
敷地面積／76.99坪 プランナー／小川貴司  
延床面積／34.64坪 施工／林 正義



家づくりのきっかけを教えてください！

**奥様** 以前は古い戸建て住まいで、とにかく寒くて使い勝手が悪いのが不満でした。息子たちがまだ小さい頃に住宅展示場を見て回ったことがありましたが、地元工務店の木が多すぎる家はうるさい感じでピンとこなかったのと、主人が乗り気にならなかったことで計画が進みませんでした。

**三男K君** 僕が中学に上がるころに「友達と集まれる、新しい家が欲しい」と両親に伝えました。父が酔った勢いで「じゃあ建てるか」と言った一言で火が付き、母と住宅公園へ。工房信州の家の片流れ屋根の外観がとてもオシャレで、中に入ると木の肌触りがとても良くて、絶対にこの家がいいと思いました。



**奥様** それからは、息子と一緒に家づくりの夢を主人に向けて熱弁する日々(笑)。特に、息子が熱心に説得したことは、主人にとっても大きな後押しになったようです。ただ、知り合いの建設会社からも提案を受けて、値引きなどで猛ブッシュされたのですが…。竣工後も長くいい関係でお付き合いをしていきたかったので、アフターフォローの体制がしっかりしている工房信州の家を選びました。



お住まい心地はいかがですか？

**三男K君** 友人を家に招くと、みんな「スゲー!!」と言ってくれて嬉しいです。僕は漫画コーナーのある共有スペースがお気に入り。吹き抜けの隣でみんなの声が聞こえる空間が居心地良くて、夜も個室ではなくここに布団をひいて寝ることが多いです。

## 故郷になる家



二度の都心部マンション購入を経て、三度目の家づくりをされたK様。子供たちの独立を目前に第二の人生を考えたとき、暮らしの便利さよりも大切にしたいと思った。安曇野の田園に佇むK様邸を訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.93



北アルプスの山並みに沿う、南に葺き下ろした大屋根の外観。黒のアクセントカラーで和モダンの趣に。



K様ご家族／ご夫婦と息子さんの3人住まい ※上の娘さんは一人暮らし中  
建設地／安曇野市豊科 営業／船田亜美 竣工／H29年3月 IC／田下美由希  
敷地面積／96.01坪 プランナー／小川貴司  
延床面積／42.57坪 施工／山住和志

楽しくてつい夢中に(笑)。家も、庭も、自分たちの"持ち物"として育むという感覚は、分譲マンションでは味わえなかった魅力です。

**ご主人** 一人暮らしをしている娘は「この家に帰ってくるのが楽しみ」と言い、息子は「将来、お嫁さんに自慢したくなる家だ」と言ってくれました。家族みんなの大切なホームになったと嬉しく思っています。



土間サロンの脇の和室は、角の柱を無くし建具を引き込んだオープンな空間。土間からごろりと寝転がっても気持ちいい。



家族4人が満場一致で選んだ太鼓梁が、この家の中心。



ご夫婦の寝室は小上がりの畳をベッド代わりに。南側の広縁は、書斎代わりになる落ち着いた空間。



南東に開けた土間サロンからは、山並みをワイドに望める。天気の良い日は、ここで朝食をとることも！



プランナー 小川貴司

長野南展示場のような美しい現しの木組みをご希望だったK様。敷地の間口に制限がある中でも、躍動感ある木組みを楽しみ空間づくりを心掛けました。

## Focus on the Owner!!

コロナ調のインテリアスタイルがお好きだったK様。新居は"和モダン"をテーマにしたコーディネートながら、お手持ちの家具との調和も大切にデザイン。サイズもぴったりとはまる空間設計は、注文住宅ならではの。



便利なマンション暮らしから戸建てへ移り住んだきっかけは？

**ご主人** 以前住んでいたのは松本市街地のマンションで、小さな子供と暮らすのに利便性と安心感が魅力で購入しました。オール電化のマンションでとても暖かく快適でしたが、子供の成長につれ手狭になり、戸建てを考えるようになって。個室を持たせてやりたいということ以上に、子供たちの独立を間近に控えて、彼らがいつでも帰ってこられる"ホーム"を作ってあげたい、という思いを強く感じるようになりました。

**奥様** それと自分たちの退職後の生活を想像したとき、マンション暮らしでは何も楽しみがないなと思ったんです。残りの人生は、便利さよりも日々の生活に楽しみを見出しながら暮らしたいと思いました。



お引越されてから、暮らしに変化はありますか？

**奥様** 以前はポーっとしたい時はテレビをつけていましたが、今は一階にテレビを置いていません。冬は薪ストーブの炎を眺めてポーっと、夏は土間サロンで景色を眺めてポーっとするのが定番です(笑)。

**ご主人** 受験生の息子もこの土間サロンが落ち着くようで、土間に参考書を広げて勉強していることも多いですね。以前は、集中して勉強したい時には外出していたので、生活スタイルはかなり変わりました。

**奥様** 家族みんな、家に居る時間が格段に長くなりましたね。インテリアでもガーデニングでもやりたいことがたくさんあり、楽しみが尽きません。雑草を抜くことすら

# りんご畑の平屋の家



農作業に疲れて勝手口を開ければ、薪ストーブのぬくもりに包まれる土間サロン。リビングの先には、丹精込めて育てたりんご畑に臨む縁側。仕事場である農園とひとつながりになるマイホームだからこそ、ほっと心やすらぐ空間づくりを大切に考えたK様邸を訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.92



すっきりシンプルにまとめた外観が美しく、元からあるご実家建物や庭木とも違和感なく馴染む。



K様ご家族 / ご夫婦2人住まい  
建設地 / 松本市今井 営業 / 船田亜美  
竣工 / H29年5月 | C / 織部聖奈  
敷地面積 / 102.79坪 プランナー / 酒井千織  
延床面積 / 23.98坪 施工 / 中尾瑠維

家づくりのきっかけを教えてください！

**ご主人** アパートに8年ほど住みましたが、もっと快適な家に住みたい、どうせなら自分たちの資産になる持ち家を、という思いがありました。消費税増税も気になってきたので、アパート脱出計画を始めました。当初は実家のリフォームを検討したのですが、築80年以上の建物に現代の耐震性を備えようとするのはかなり大変で…。隣に夫婦だけの小さな家を建てる方がスマートではないかという結論になりました。

**奥様** 農作業しながら聞くAMラジオでフォレストコーポレーションの名前はよく耳にしており、県産材の家づくりに興味を持っていました。住宅公園で大手メーカー数社のあと工房信州の家を見て、木のぬく

もりに満ちた雰囲気「絶対にこの家がいい！」と私は直感しました。その場では平静を装っていましたが(笑)

**ご主人** 私が工房信州に決めたのは打合せを始めてからです。最初にご提示いただいた資金計画がとても細かく、具体的な話ができて安心しました。他社さんでは、後から思わぬ費用がかかって最終的に予算オーバー…という話をよく聞きますが、そうした不安が一切ありませんでした。

**奥様** 営業担当の船田さんは物腰が柔らかく親身になってくれてとても良かったのですが、打合せの最後、私たちが意思決定をする場面になると一転、真剣な眼差しに切り替わったことを印象的に今でも覚えています。良い家を建てさせてあげたい、という強い思いが伝わって嬉しかったですね。



プランニングのこだわりは？

**ご主人** 基本的にはひとつながりのオープンな空間なのですが、二畳弱の書斎だけはこもり部屋として落ち着いたデザインにしました。また、建具や照明のステンドグラスは木の雰囲気ともよくマッチして、気に入っています。



**奥様** 私は板張り天井や幅広の床板など、木の安らぎに満ちた空間全体がお気に入り。新しいのに体馴染みが良くて、慌ただしい日々の疲れを癒してくれる大切な家です。



奥まった位置の書斎はデザインテイストをがらりと変えたシックな趣。デスクワークにも読書にも最適。



担当 船田亜美

会社をお決めいただくときに奥様が涙され（もちろん私ももらい泣き）、良い家づくりをしましょうとご夫婦と誓いました。K様と二人三脚の家づくりができたという実感があります。

### Focus on the Owner!!

3ヘクタールの畑で十種類以上のりんごを育てる専門農家。「りんごは蜜入りが重宝されがちですが、足が早いという欠点も。他にも美味しい品種はたくさんあり、バラエティ豊かなりんごの美味しさを広めたい」とK様。



勝手口に入った土間サロンがK様の玄関代わり。汚れた作業着を着替え炎にぬくもりながらお茶休憩もできる、多機能な場。



斜天井と大きな掃き出し窓で、平屋とは思えない開放感あるリビング。床、壁、天井まで木のぬくもり溢れる。



ご主人が二週間かけて自作したステンドグラスが映える玄関。



# ∞ バトンをつなぐ家

～心も体もあたたまる住まい～



人と人の不思議なつながりに後押しされ、積み重なる縁によって、想像をはるかに超える住まいに仕上がったK様の家。一本の柱、一卓の机、手作りの作品、ひとつひとつに思い出話は尽きません。つながりに感謝しながら住まうK様の豊かな暮らしを訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.91



建替え前の庭木を一部移植するなど、元からあるものを活かす設計を大切にしました。



長野市川中島町 K様ご家族/  
ご夫婦と娘さんの3人住まい  
竣工/H27年11月 営業/脇坂奈緒  
敷地面積/102.70坪 I C/川村裕子  
延床面積/42.58坪 施工/平澤雄太



工房信州の家に決めるまでのストーリーを教えてください！

**ご主人** 定年退職を目前にして、ゆくゆくは建替えを考えようと思ってはいたものの、時期は漠然としていました。トントン拍子で進められたのは、色々なつながりに支えられたからなんです。元々はラジオで社名を聞いたことがあり、書店で偶然に小澤社長の本を見つけて読み込んでいました。木の家や薪ストーブにも惹かれましたが、昔の家のイメージがある「土間」を現代にどう活かしているのか興味が湧きました。

**奥様** ちょうどその頃、夫婦ぐるみのお付き合いの同僚が家を建てると聞いてメーカーを尋ねたところ、私たちが興味を持っているのと同じ「工房信州の家」！話を聞いて盛り上がって初めて展示場にお邪魔し

たところ、その同僚の担当者である脇坂さんにぼったり出会ってまた盛り上がり(笑)。提案内容も想像しなかったアイデアを次々といただき、期待が高まりました。私たちは当たり前のように南に向く暮らしをイメージしていましたが、敷地条件に合わせて東に大きく開放する空間を設計していただき、これが非常に心地良いです。

**ご主人** 実家に遺されていた山の木や古い板材の利用を勧めてくれたことも大きな後押しでした。まさか新居に使うとは思いませんでした。先代の遺品を我が家ならではの個性として活かしていただき、感激です。これを機にあいまいだった山の境界も明確になり、自分の山への意識も高まりました。家づくりに関われることも魅力的で、自分でデザイン・制作したステンドグラスは家じゅうから眺められ、充足感があります。



新居が完成していかがですか？

**奥様** とにかく暖かいですよ！前の家では、毛布・あんか・靴下がないと眠れませんでした。今は羽毛布団一枚だけで十分です！

**ご主人** 御社には、未来のある会社だ、という印象を強く持っています。荣誉ある多くの賞を受賞され、メディアでも良く取り上げられている。特に、工房信州の家を象徴する空間である土間サロンは、作り手も住み手も信州人の気質である「ズク」がないとなかなかできないことだと思います。こうした家づくりがさらに信州に広がってほしいですね。



ご実家の山で伐採したスキを、リビングの丸柱と太鼓梁に。植え育ててくれた先代へ思いを馳せる空間。



担当 脇坂奈緒

雪積もる日に山へ入り伐採したこと、何十枚にもわたって構想を練ったステンドグラスのデザイン画など、私も一緒にたくさんのお思い出を作らせて頂きました！

### Focus on the Owner!!

野菜や植物を置いたり薪を割ったりと大活躍の土間サロン。美術の先生であったK様は、作品作りの作業場としても重宝されているそう。新年に向けて、新たな紙粘土作品の構想に余念がない様子でした！



奥様いちばんのお気に入りにはダイニング。壁付ベンチに腰かけ、ワイドな開口から東の山並みを望む落ち着いた空間。



ご実家の倉庫に長く眠っていたケヤキ板は、美しい座卓に再生。お孫さんを含めた皆で囲む、一家団欒の主役に。



学生時代の石膏作品や家族のアルバムなど、思い出の品の寸法に合わせて飾り棚を計画したオープンな書斎コーナー。



# 中庭が結ぶ、二世帯住宅



二世帯住宅のスタイルは、十人十色。  
Y様邸の場合、住まいの中心に配した中庭が  
ご家族の人柄とも相まって、実に心地よく2つの世帯を結んでいます。  
理想的な二世帯暮らしを実現するY様ご家族のこだわりとは。



HPフォトギャラリーで  
未掲載写真を公開中！

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.90



西から東へと暮き下ろす大きな片流れ屋根が印象的。  
来客への道案内は「三角の家」と言えば  
分かってもらえて嬉しい、とY様。



伊那市 Y様ご家族 / お母様・  
ご夫婦・長男・長女の5人住まい  
竣工/H29年2月 営業/後町勇貴  
敷地面積/108.51坪 IC/奥村瑠美  
延床面積/41.20坪 施工/赤羽和樹



お洒落で素敵なお住まいですね！  
こだわりを教えてください！



**奥様** 以前の住まいが無垢の木のアパートだったこともあり、木の家のイメージは明確にありました。何社か見学した中で、本物の木のぬくもりはありつつも、無骨ではなくスマートで、一番バランスが良いと感じたのが工房信州の家でした。



**ご主人** ただ、一番の心配はお金のこと。外構やカーポート、家電など、建物以外も充実させたかったので、お高そうな工房信州の家では無理かなあと。ダメもとで工房信州に声をかけつつ、同時に他社も検討しました。私たちからの要望は、人とは違う外観デザインと、中庭があること。他社さんでは「アレもコレも出来ます」という感じてまいちピンと来なかったのですが、

工房信州のスタッフさんは好みをよく理解したバランス良い提案で、さすがプロという印象。充実した空間設計なのに、延べ床面積は41坪に抑えられて、見積もりも予算内！すっかり安心して、仮契約の直後に家具一式を衝動買いしてしまいました(笑)



二世帯でのお住まい心地はいかがですか？



**ご主人** 中庭を介して東西に各世帯が分かれる間取りで、気兼ねなく暮らせています。それぞれのリビングから中庭を眺められますが、窓の配置の工夫で視線は気にしなくて良いし、生活音も気になりません。



**奥様** 私もお義母さんも溜め込まず何でも言う性格なので、ストレスはありません。小学生のお兄ちゃんの帰りが早くても、私

が帰宅するまで一緒に居てくれるので安心ですし、洗濯物も取り込んでもらっています。生活時間が違うので食事は別々ですが、時にはおかずを一品交換したり。ベッタリでなく、いいバランスで関わり合っています。



**ご主人** 間取りも収納も文句なく"快適"の一言。夏は換気口を開けたら締め切った部屋もひんやりとして、エアバス効果にびっくり。冬は、薪ストーブはありませんが、2月の無暖房の朝でも14~15°Cくらいで快適です。住みながら手を入れた庭もようやく完成形になり、四季の表情をビクチャーウィンドウから眺めるのが楽しみです。



ソファに腰かけて高窓から眺める中庭の景色がご主人いちばんのお気に入りだそう。



営業 後町勇貴

設計担当と協力して、予算内でトータルコーディネートが出来ました。建物以外の予算はご家族により様々。まずは家づくり全体の資金計画がオススメです。

### Focus on the Owner!!

整頓上手なY様邸は、収納の中までこんなに綺麗！インスタグラムで情報収集し、SNSで話題の「シンデレラフィット」を見事に実現。シンデレラのガラスの靴のようにぴったり収まる収納なら、毎日気持ちよく過ごせそう。



木のぬくもりに満ちた、ひとつながりのLDK。板張りの腰壁は、デザイン性と汚れ防止の二役を兼ねる。



お母様のリビングからは、地窓を介して中庭を臨む。



天井高を抑え、板張り天井と京壁で仕上げた落ち着いた寝室。吹き抜けにつながる障子戸と間接照明にもこだわり。



# シンプル＆ミニマムな家



一階・二階合わせて、30坪に満たないS様の家。けれど玄関から一步入ると、広々とした開放感にあふれていることに驚きます。それは、不要な間仕切りを排除した広がり間取りであることはもちろん、気に入ったものだけを長く大切に使うS様のライフスタイルに依るところも大きいでしょう。シンプルで心豊かな暮らしを体現するS様のお住まいを訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.89



茶系でまとめた外観は、庭木のグリーンにも映えることを意図したカラーリング。来春からはポタジェ（収穫と鑑賞の両目的を兼ねる庭）づくりに励むそう！



茅野市 S様ご家族／  
ご夫婦と長女・次女の4人住まい  
※ご主人はお仕事のため取材日は不在でした  
竣工/H29年6月 営業/平井政人  
敷地面積/121.40坪 IC/奥村瑠美  
延床面積/29.02坪 施工/林正義



どんな家づくりをしたいと考えていましたか？

**奥様** もともと建築やインテリアを見るのが好きで、無駄を排除したシンプルな空間が理想だと考えていました。木の家は何社も見学しましたが、工房信州の家を見てこんな家を建てたいと主人が惚れ込み、家づくりが具体的に動き出しました。建物そのものの良さはもちろん、スタッフの皆さんが嫌味がなく、分からないことは素早く答えてくれるスピード感があり、話を進めやすかったです。最終的な決め手は、選木ツアーやひとてま工房など、私たち家族が家づくりに関われる場がたくさんあること。任せきりではなく、参加して思い出に残る家づくりをしたいと思います。はじめに家族で話し合っただけのテーマは3つ「心と体にやさしい家」「冬あたたか

く夏すずしい家」「長く愛着の持てる家」です。特に3つ目のテーマは、おじいちゃんおばあちゃんになっても似合う家でありたいと、主人と一緒に考えました。シンプルで応用のきく空間と、緑が似合う素朴なデザインを大切に打合せを進めました。



シンプルに暮らす秘訣と、これからの展望を教えてください！



**奥様** 内装は、白とベージュを7：3で配色して、物を入れてもすっきり・かつ膨張色で広く見えるように考えました。収納は適材適所に細々つくるよりも集中した収納を大きく設けて、暮らしながら使い勝手よく工夫していける空間が便利です。あとは、断捨離の本を読んで実践していますが、家族を巻き込むのはなかなか難しく…。捨てられない物にはその人なりの理由があ

るので、無理強いはしないようにしています。子どもはひと箱から物が溢れるようになったら選別して捨てるルールで、自分で管理させています。家族がそれぞれ納得いくかたちでシンプルライフに近づくことがいちばんです。次のシーズンは庭づくりが楽しみ！梅、柚子、アンズ、ブルーベリーやジュンベリーなど実のなる木を植えて、ジャムづくりや柚子湯を楽しむのが夢。家族みんなで季節を感じる暮らしを大切にしていきたいです。



リビング土間で、外との距離が近づく。お主人は自主的に庭の水やりをしてくれるそう。



営業 平井政人

住みながら、家や庭に手を入れることを大切にされているS様。月日がたつほど良い家になっていきそうで、今から楽しみです。

### Focus on the Owner!!

深い緑色が印象的な子ども椅子は、奥様が子どもの頃に使っていたもの！奥様のお父様が大切にメンテナンスをされていたそう。母子二代にわたって受け継がれた美しい椅子は、S様の丁寧な暮らしぶりを象徴するようです。



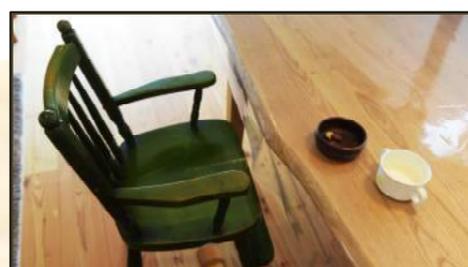
壁付キッチンが木製扉で、インテリアに馴染むデザイン。ダイニングセットも合わせて「木のすず」でオーダー。



キッチンと統一した白の壁面タイルが清潔感ある造作洗面台。ボールペンニングセンのウォールライトが素敵。



二階に設けた大きなウォークインクローゼットは建具のないオープンスタイルで、日常使いがより便利に。



生成りの家 

お引渡しを目前に、スタッフが「こんなに未完成で良いのでしょうか」と心配したほど飾らないシンプルさが魅力のT様邸。  
自由度が高く、未来のどんな暮らし方も許容する、懐の深さを備えています。  
「“未完成”という完成の在り方もあるんですよ」と教えて下さったT様のこだわりを伺います。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.88



モノトーンできりりとまとめた外観。  
「齢を重ねても似合う家であってほしい」とT様。



中野市 T様ご家族/  
ご夫婦2人住まい  
竣工/H29年1月 営業/寺澤周平  
敷地面積/69.31坪 設計/片桐寿美  
延床面積/34.37坪 施工/平澤雄太

まず、家づくりのきっかけを教えてください！

**奥様** いつかは建てたいな、という程度で、まったく具体性はなかったのですが…。ランチのお店で偶然手にした雑誌に工房信州の家が載っており、見学したいとその足で展示場へ行き、木の家の質感に一目惚れ！「この家を建てたいから、家づくり計画を始めよう！」というのが動機です(笑)

**ご主人** それから県内じゅうの工房信州の展示場をすべて見学。やっぱり工房信州が一番だとは思いましたが、金額面で勇気が出ず…。家の雰囲気に近い他社を検討したものの、設計の専門スタッフが少なく工房信州のような提案力がない。結局、会社の同僚たちも皆しっかりローンを組んで頑張っているのだから俺も！と奮起しました。

どんなこだわりを持って家づくりをされたのですか。

**ご主人** 住宅雑誌を見て、断片的ながら空間イメージはかなり具体的にありました。でもやりたいことが多く、暮らし方も変わっていくので、あえて作り込まず可能性が広がる空間にしました。将来、棚やカウンターを付けたくなりそうなところには下地を入れておき、ハンモックや絵をかけられるよう随所にフックを取り付け。二階は梁を表に出した斜天井なので床を張ればロフトが出来る。程よく壁もあるのでコーナーに畳を敷くことも自在。自由な空間をこれからどう使おうか、構想が膨らみます。

**奥様** オープンな空間ですが、適材適所に収納や目隠しの壁があり便利です。いつもこの位、物は少なく過ごしていますよ。



お住まいになって変化はありますか。

**奥様** とにかく洗濯がラク！すぐ乾く！前のアパートは室内干して生乾きの臭いがひどかったですが、今は冬こそ洗濯が楽しいです。

**ご主人** 私は仕事柄、図面を見て立体を想像することは慣れていたので、竣工してもイメージ通りではありますが、唯一イメージしきれなかったのが太鼓梁の納まりです。一番太く曲がりのある梁を選んだので、枝付きの丸柱と組み上がった姿はインパクトがあります。やってみないと分からない、というのは既製品にはない面白さですね。  
家を建ててから、ベタですが、早く家に帰りたいくなりました。それまでは仕事人間で、やっただけ成果がついてくる達成感にのめり込んでいましたが、今は夕方5時には仕事を終えて薪ストーブで遊びたいと思うように(笑)。休日にビザを焼くのも良いですが、基本はビール片手にポーッと炎を眺めています。一杯目はダイニングで、二杯目はストーブ前で、がお決まりのパターン。なんでもない毎日が、至福の時間です。



設計 片桐寿美

構造的に必要な柱や壁を確保しながら、開放的なひとつながりの空間を計画しました。暮らし方を変え、自ら家を手入れながら、長く楽しめる住まい。これからの進化がとても楽しみです！

## Focus on the Owner!!

DIYにも精力的なT様。ダイニングテーブルも自作で、一万円以下の材料費で出来たそう！ご実家が設備系の自営業をされており「子どもの頃から工具がいつも身近にあったから、ものづくりへの抵抗が少ないんでしょうね」とT様。これからも住まいがどんどん進化していきそうです！



独立した部屋は寝室のみだが、程よい壁量で視線が遮られる、絶妙なバランスの広がり間取り。



# お出かけするより 楽しいわが家



わが家にタイトルをつけるなら、「身近な夢の国」「出かけたくなくなる家」というN様ご家族。なんでも、休暇のリフレッシュにと出かけたペンションで、自宅がいかに居心地良いかを再認識し、早々に帰ってきてしまったのだとか。わが家時間がいちばんの贅沢の、笑顔あふれるN様邸を訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.87



車好きのご夫婦がこだわったビルトインカーポートと外構プラン。ウッドデッキ前では芝を育成中！



上田市 N様ご家族/  
ご夫婦とお子さんの5人住まい  
※取材後、第三子がお生まれになりました！  
竣工/H28年8月 営業/鴨井竜也  
敷地面積/83.70坪 設計/片桐寿美  
延床面積/37.64坪 施工/林 大輔



木の家を多く見学された中で、工房信州の家の決め手は？

**ご主人** 上田周辺には「木の家」を謳う住宅会社がたくさんありますが、実際に見に行ってみるとその内実はさまざまでした。集成材の臭いで息苦しい家、自然派志向に偏った家、要次第でなんでもやりますという会社…。何社も見つ中で、一番バランスが良いと感じたのが工房信州の家でした。素材もデザインも上質なのにすっきりと控えて、県内全域で頑張っている地元企業という規模感も魅力に感じました。それとスタッフの距離感もちょうど良かったですね。小さな工務店では「気に入ったらまた来て下さいね」と言われて、こちらから行動を起こさないと話が進まない。正直ハードルが高かったです。工房信州の家ではスタッフと年齢層が近いこともあり

フランクに話せて、尚且つちゃんとリードもしてくれた。営業担当の鴨井さんと「竣工したら新居で呑みましょう」と約束をして、本当に実現して泊まってもらったのは嬉しかったです。



スタッフはもちろん、職人さんとの関わりも深かったそうですね。



**ご主人** 工事中は現場に毎日のように通って、職人さんともよく話しました。細かな配線の収まりについて二時間も職人さんと話し込んだり…。雑談も多かったですが、工事の過程を任せきりではなく、自分も参加しているという実感が持てました。工事中にはひとま工房で木工引き子づくりをしたのですが、これが楽しくて(笑)。以来手仕事に目覚めて、竣工してからも薪小屋などいろいろと手作りしています。



新居での暮らしはいかがですか。



**奥様** 前はアパート住まいでしたが、引越してからは庭に出て子どもだけで遊ぶようになり、大人も子どもものびのびできるようになりました。薪割りにハマる主人の隣で、私は庭の手入れ、その横で子どもたちは砂利で遊ぶ。ちょっと疲れたらウッドデッキでお茶をしたり、ときにはピクニック気分ランチをしたり。外とつながる暮らしを新鮮な感覚で楽しんでいます。お出かけも良いけど、やっぱり我が家がいちばんです！



手が隠れるカウンターキッチンですっきりと。三灯連なる真鍮製ペンダントライトにセンスが光る。



リビング座卓の大きな一枚板は、モンキーポッド。「この木なんの木」のCMで有名なあの木です！

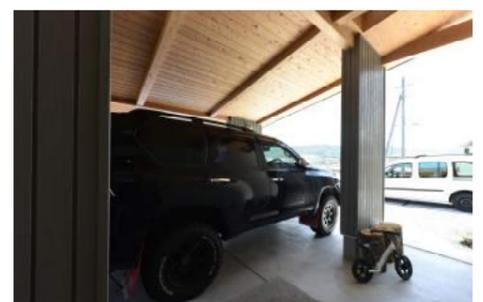


二階の共有スペースは、吹抜けに漂うような感覚の「浮き床」。変化のある空間が楽しい！



担当 鴨井竜也

同世代のご夫婦の家づくりは、とても楽しそうでした。いつもウェルカムなご家族。私にとってもマイホームのようです。



玄関ポーチを兼ねたカーポートが、家のファサードに表情をつける。板張り天井は一部天窓で明るさも確保。



### Focus on the Owner!!

「薪割りはスポーツ」と話すご主人の手慣れた斧使いは流石！敷地外周をぐるりと囲む薪小屋もすべてお手製で、区画分けした薪材と収穫コンテナに収納した焚付け材が見栄えも良い。「冬がきて焚くのが勿体ない」というほど充足感がある様子！

# 信州ライフを謳歌する家



長年の東京暮らしを経て、信州に居を構えたU様は、移住していちばんの変化を「何かを我慢するストレスがなくなったこと」と話されます。県外で暮らしたからこそ分かる、信州ライフの魅力とは。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.86



北佐久郡御代田町 U様ご家族/  
ご夫婦と息子さんの3人住まい  
竣工/H29年3月 営業/柳澤悠子  
敷地面積/203.95坪 | C/藤澤知広  
延床面積/50.66坪 施工/林 大輔



東京から信州への移住を決めたいきさつを教えてください。

**ご主人** 私は長野県出身で東京で就職しましたが、東京の住まいはマンションでも戸建てでも30坪にも満たない。いつかは信州へ戻ってゆったり暮らしたいと思っていました。特に子どもが生まれて、就学までには環境の良い場所に引っ越したいという希望から、時期を決めて計画しました。

**奥様** 私は県外出身ですが、子どものびのびできることがいちばんだと考えていたので、移住することへの抵抗はありませんでした。信州は寒いのだろうとは思いましたが、工房信州の家の性能の高さを知って暖かさは確保できる家だと思いましたし、土地も利便と環境のバランスの良い場所に巡り合えたので、不安はなかったです。



工房信州の家との出会いは？

**ご主人** 住宅雑誌が好きでよく見ていました。田舎暮らしの本やチルチンびと、なかでもKURAに載っていた安曇野のお宅をよく覚えています。同じ移住のご夫婦の家で、信州の自然を楽しむ暮らしぶりがとても素敵でした。まずは私一人で長野南展示場へ行ったのですが、空気感がとても清々しいのが印象的。他にも木の家をいくつか見学しましたが、呼吸して体に入る空気の質がこんなに違うものかと驚きました。

**奥様** そのあと主人が厳選した数社と一緒に見学に行きましたが、広々と開放的な空間づくり、おしゃれて洗練されたインテリア、機械に頼らないエアバス工法と、バランスのとれた工房信州の家に即決でした。悩まなかったです。



信州に引っ越して、暮らしに変化はありますか？

**ご夫婦** いちばんの違いは、何かを我慢するストレスがなくなったことです。東京の家では子どもが騒ぐとご近所から苦情があり、周りを気にして「めいわくだからやめて」と子どもを制することが多かったのです。今の家では存分に走り回って大きな声も出せるし、外遊びをしてもさほど危険もない。親も子どもも我慢しなくて良い、というのは大きな変化です。のびのびとありのまま過ごせる環境の豊かさを実感しています。

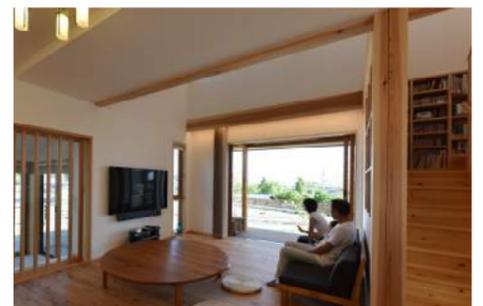


開放的な吹抜け。腰壁に埋め込んだ四角い3つのスタンドグラスは、信州の山と四季をテーマにご家族3人で手作り。

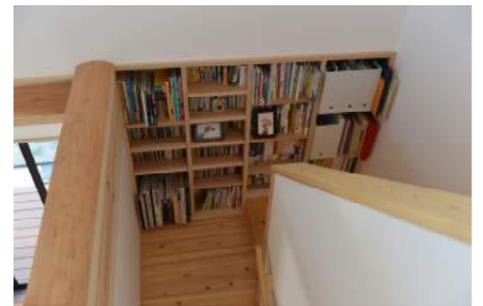


担当 柳澤悠子

久々にお会いした奥様がはつらつとして、お子さんと遊ぶ姿は以前の小奇麗な印象から、良い意味でイメージが変わりました。今はDIYで薪小屋制作中だそうです！



フルオープンサッシの向こうにはプライベートなウッドデッキ。その先には八ヶ岳を望めるそう！



本好きなご家族のために、階段踊り場や二階共有スペースなど各所に造りつけの本棚を設けた。



スリット建具を開け放せばリビングと広々つながる土間サロン。ご主人は毎朝ここで新聞を読むのが日課だそうです。

### Focus on the Owner!!

温泉好きなU様ご家族。板張りの風情ある浴室に浸かると、窓から浅間山が望める。休日には近くにいっつもある温泉に出かけるのも楽しみで、息子さんは地元の女性陣とすぐに打ち解けて仲良くなってしまおうのだとか！



# 皺を刻むように 深まる家



家づくりは、人生の一大イベント。そこには必ずストーリーが生まれます。Y様の家づくりにも思いがけないドラマがたくさん。今は亡き祖父の願い、営業担当者の感性、さまざまな“人の想い”が紡がれて家づくり物語は深みを増すのだと気づかされる、Y様のストーリーです。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.85



安曇野市穂高 Y様ご家族/  
ご夫婦と娘さんの3人住まい  
※ご主人はお仕事のため、取材日は不在でした。  
竣工/H28年10月 営業/寺澤周平  
敷地面積/103.07坪 | C/藤澤知広  
延床面積/31.55坪 施工/山住和志

**西の大きな窓から眺める山並みが  
素敵！良い土地を見つけましたね。**

と、目からウロコ。同じ土地の案内だったからこそ、結果的に担当者のパフォーマンスの違いも明確に見えましたね。

**奥様** ありがとうございます。でも実は、私たち夫婦の中では一度却下した土地だったんです。担当の寺澤さんにも内緒の話なのですが…。他社さんに先に土地紹介をしてもらって、この土地の情報も知っていました。その時点では、南の大きな家が圧迫感があり良い土地だと思わなくて。その翌週フォレストさんの土地紹介ツアーがあり、再び案内されたこの土地。「ここは選ばないと決めたいけど…」と内心思いながらも寺澤さんの提案を聞くと、印象が一変！「西に開いたプランニングで、陽当たりと眺望に恵まれた家ができる。南の家はまったく問題ない」と、配置イメージまで明確に語ってくれて。この土地でもプラン次第でそんな豊かな暮らしが出来るんだ！

**他社さんとはどんな点を比較検討されたのですか？**

**奥様** 提案力はもちろん、対応の丁寧さも決め手でした。フォレストさんは資料の作りが丁寧で、資金計画も細やかで具体的なライフプランまで提示してくれた。ひとつひとつは小さなことですが、一生のお付き合いになるので、信頼できる会社を選びたいという思いが一番でした。それと、土地紹介ツアーの後に一緒にお昼ごはんを食べたのですが「このままでは信州の森も林業も危ない」と力説する寺澤さんが印象的で。地域材利用で信州の森と林業を健康にという理念に強く共感しました。

それまでは正直、金額の安い他社に決めかけていましたが、もし他社を選んだら「やっぱりフォレストにすれば良かったね」と言い合う未来が見えて…。土地ツアーの一日で、私たちの気持ちは一気にフォレスト寄りに(笑)。

**ほかに、当社を選んで良かったと思う点がありますか？**

**奥様** 飯山市にある主人の実家の山の木を、薪ストーブ前の柱と梁に使ってもらえたこと。本当は実家の新築のためにお祖父ちゃんは望んでいましたが、叶わなかったのです。孫の代で願いを実現でき、今は亡き祖父も喜んでいるはずだと父母も感激してくれました。家族が集まるリビングの木が先祖の山から来たと思うと、先祖に家族が守られ、ひとつになっているような、あたたかい気持ちです。やわらかな無垢の床のキズも、棚の漆和紙の色味の深まりも、人の皺といっしょで年月を経て味わいを増す家だと実感しています。



営業  
寺澤周平

山登りが趣味のY様は「大好きな穂高岳を眺める暮らし」というイメージが明確で、それならこの土地だ！と直感。土地ツアーでは地縄を仮に張って、南隣地との距離感を確認しました。ちょうど土地が値下がったのも、何かの縁でしたね。



西の大きな吹抜け。ワイドなはめごろし窓から、たっぷりの陽射しと北アルプスの山並みを存分に楽しむ。



TVがあるのは二階の共有スペースだけ！見たい番組だけの視聴で、お子さんと接する時間が密になったそう。



諏訪展示場に做った造作洗面は、オープンでも見栄え良く来客に重宝。家族の洗面と分けた目的別プランが大正解。



悩み抜いたカーテンプラン。お気に入りのレースをロールカーテンの内側に設け、いつも室内から眺められる。



蔵の町・須坂の市街地に暮らすM様の土地には、築200年以上の土蔵や大きな枝垂桜など、遺したいものがたくさんありました。古き良きものを活かしながら、それらと調和する新築住宅を建てる。Old と New が互いに価値を高め合うようなM様の家づくりをご覧ください。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.84



須坂市 M様ご家族/ご夫婦2人  
※お子さま3人は独立されています  
竣工/H28年9月 営業/大沢芽衣  
敷地面積/135.71坪 IC/酒井彩也子  
延床面積/39.07坪 施工/平澤雄太



新築の住まいが、隣の蔵にとても馴染んでいますね！



パートナーに工房信州の家を選ばれた決め手を教えてください！



**ご主人** ありがとうございます。土地の入り口に建つ蔵は文化3年(1806年)の古い建物ですが今となってはできない造りで、壊さず再生したい思いがありました。住まいの建替えと合わせて、**蔵のリノベーションもフォレストさんに依頼**。まず最初に蔵の色を決めて、それに合うように新居もコーディネートしてもらいました。町並みにも調和する美しい建物は、我が家の財産になったと感じています。



**ご主人** 建替えのタイミングと考えた退職まで二年を切り、勉強がてら住宅公園へ。そこで見学した工房信州の家は、香りや肌触り、**五感で感じる良さ**が印象的でした。ただその時は、高気密高断熱の他メーカーに決めようと思っていたのですが…他社の完成宅を何軒見ても、感性に響くものがない。決めきれずモヤモヤしていた頃、担当の大沢さんに近くの内覧会に誘っていただき、そこで改めて「**感性が求めていた家は、これだ!**」と実感。他社の機械ありきの構造に対して、工房信州の家は、風通しを考えた設計やエアコン要らずの夏の暮らし方など、**昔の家の良さを取り入れる**点にも共感。古き良きものの価値を分かっている会社だと感じました。



**奥様** 室内も**和モダン**をテーマにまとめてもらいました。特に私が好きな空間は、和室。仕切りの襖すべてが壁に引き込み、毎日長い時間を過ごすリビングと広くなるので、日常使いにも重宝しています。



**奥様** メーカー決定までは、主人しか見学に行かなかったんです。主人のセンスを信頼して任せていたので(笑)。その後一緒にバスツアーに参加し、娘と同世代の**若い方が活き活きと頑張っている**姿に好感が持てました。



**ご主人** スタッフ皆さんとても親身で、私も関わる場面が多く**一緒に家づくりをしたという感覚**が強くあります。計画上やむなく伐採した庭のイチイを玄関取っ手や帽子掛けに再利用してくれ、材の削りは担当の大沢さんが手伝ってくれたことが良い思い出。ステンドグラスや引き子づくりも体験し、昔からものづくりは好きだったなあと思い出しました。今も我が家に少しずつ手を加えて、自分らしく発展させていくことを楽しんでいますよ。



昔からある桐箆をリフォームし、リビングに。古き物の価値を今に活かす、M様の思いが垣間見える。



玄関入って正面に位置する対面キッチンには、縦格子の目隠しが。和の空間を美しく演出し、お気に入りだそう。



担当 大沢芽衣



眺める景色もK様のこだわりの1つ。四季折々で表情を変える庭や山の景色を住まいに取り込み設計です。



存在感あるエンジュの床柱や飯山仏壇を中心に設計した本格和室。美しい雪見障子からは、庭の椿が望める。

### Focus on the Owner!!

小布施町出身の日本画家 中島千波さんがお好きで、住まいのあちこちに作品が。飾れる壁や棚を多く設け、楽しみながらレイアウトしているそう。玄関建具のステンドグラスも、中島さんの版画 秋明菊がモチーフのデザイン。



# タテヨコ に駆け巡る家

Coppa's Home Visit 83



階段を登ると広がる仕切りのない大空間を、縦横無尽に駆け回る子どもたち。その中央に位置するスキップフロアのオーディオコーナーは、絶好の秘密基地。「実用性」と「面白味」を兼ね備えた、注文住宅の魅力が詰まったY様邸を訪ねます。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.83



長野市 Y様ご家族/  
ご夫婦とお子さま3人の5人家族  
竣工/H28年3月 営業/栗崎彩子  
敷地面積/92.33坪 IC/酒井彩也子  
延床面積/44.08坪 施工/平澤雄太

**楽しい工夫がいっぱい詰まったお宅！ワクワクする空間ですね！**

**奥様** 子供たちの空間はどーんと広い方がいいと、仕切りのないオープンなつくり。存分に遊べて、お掃除も一気にできてラクです。一階はアイランドキッチンと薪ストーブを中心とした使い勝手の良い間取り。家事導線の良さは子供も感覚的に分かるようで、何も言わなくても食器を運んだり**進んでお手伝いをしてくれます！**

**ご主人** ちなみにキッチンコンロは私のセレクト。たまの休日に庭先のバジルでソースを作ったり、気に入った器具だと気持ちも高まります。

**奥様** 私はキッチンから見える、選木ツアーで長女が選んだ**柱と梁の眺めがとても**

**好きなんです。**伐採のあと年輪を見た山守さんが、これは植林ではなく自然に芽が出て生き延びたくましい木ですねと教えてくれて。そんな木を選んで我が家に迎え入れたこと、とても誇らしく思います。

**土地と建物を決めるまでのエピソードを教えてください！**

**奥様** 長野市への定住希望でしたが、当時南信に住んでおり自力で土地探しは大変で…。今の土地は工房信州の家から紹介されて巡り合った場所で、当時はまだ造成前。利便性の良さや大通りから一本入った落ち着いた希望に合う環境に惹かれましたが、あまりの早さで決めることに少しの戸惑いもあったのが正直なところ。でも土地は縁だというし、特に長野市は土地の動きが早いので、**思い切って決めて正解でした。**

**ご主人** 私は仕事で県産材の助成金と関わることもあり、色々な工務店は知っていました。一般的に地域材は割高なイメージですが、工房信州の家では独自で流通体制を整えて、**コストの無駄を省き効率よく地元の木が使える。**小さな工務店にはないしっかりとした体制と、大きなメーカーにはない地元密着の在り方に惹かれました。また実際にいろいろな展示場に行くと、木の家と一概に言っても息苦しさを感じる家が多く…。工房信州の家の**体がリラックスする感覚**も決め手のひとつ。その時感じたとおり、毎日のびのびと過ごしていますよ。



プランナー 片桐寿美

とてもとても仲の良いY様ご家族。いつも家族のつながりやぬくもりが感じられる家になるよう心がけました。



### Focus on the Owner!!

音楽鑑賞好きのご主人こだわりのオーディオコーナーは、こもるのではなく家族で共有する空間スタイル。斜天井の高さを活かし、吹抜けの一角にスキップフロアを設けた。家じゅうに音楽が届き、ますます音楽好き一家になれそう！



キッチン棚と一体のピアノコーナー。お気に入りの間接照明は、スマートなデザインで、明るさもバッチリ。



家の裏手には小さな公園が！ちょうど良い位置に設けた小窓から「おやつだよー」と声をかけるお姉ちゃん。



ご主人のこだわり・高蓄熱式のスイス製薪ストーブは、暖房効率を考え住まいの中心に。上部は吹抜けではなくあえて天井を設け、一階全体に暖かさが広がる。



# GALLERY HOUSE

アートギャラリーのような家



長年にわたる中国赴任を終え、安曇野に生活拠点を移したK様。現地で集めた調度品が活きる空間、をテーマに、終の棲家を建てられました。「この家がいちばん映える時間帯」とK様が勧めてくださった夕暮れに、ギャラリーのようなお住まいを訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.82



安曇野市 K様ご家族／  
60代ご夫婦 2人住まい  
竣工/H28年7月 営業/岡澤良充  
敷地面積/67.72坪 IC/松岡純子  
延床面積/36.82坪 施工/仁ともか



外から拝見すると、上品な画廊のようです！設計上のこだわりは？



自慢の品々に囲まれた空間で、お住まい心地はいかがですか。

**ご主人** 仕事で中国に赴任していたころに、趣味でいろいろな絵画や置物を集めていたんです。当時住んでいた集合住宅では折角の品々を上手く飾る空間がなかったので、新居のプランニングでは、どの絵をどこに飾ろうかと考えながら検討しました。もうひとつのこだわりは、眺めの良さ。南側に田んぼが広がる開放感が気に入って決めた土地なので、これを活かした家になりたいとお願いしました。サイズの大きい絵画を飾るには大きな壁が必要で、開放的な眺めを楽しむには壁は極力減らしたい…。**相反する2つの要望に**、スタッフの皆さんには非常に苦心していただきましたが、**どちらの条件も見事に両立した空間**になったと思います。

**ご主人** この家には、くつろぐ場所が数えきれないほどあるんです。どこにいても居心地が良く、**どこから見ても絵になる家**ですね。なかでも一番好きなのは、土間の椅子に腰かけて見上げる吹抜の眺め。吹き抜けのペンダントライトは通常は一灯ですが、ありきたりだよねとコーディネーターの松岡さんに言ったところ、大小様々な三灯の組み合わせを提案してくれました。これが個性的に空間を演出してくれ、毎日でも見飽きることはありません。**空間の連続性がある**点も気に入っています。リビングから土間へ、そして庭へと、空間が緩やかにつながり淀みがない。それから、寝室と吹き抜けをつなぐ幅広の建具。昼は南側を開放して山並みを眺め、夜は北側を

開放して室内の調度品を眺めて…と、空間のつながり方に変化を持たせられる点も良いですよ。冬は薪ストーブの炎を眺める特等席で一杯。夏になったら、縁側でカエルの大合唱を聞きながら一杯。贅沢な暮らしですが、これまで長年働いてきましたからね。**退職まで頑張った自分への、ご褒美のような家**です。



コーディネーター  
松岡純子

純粋な和でも洋でもない、K様オリジナルの空間を目指しました。暮らしながら、ふとした時に「良い家だな」と感じて頂ける住まいになったと思います。



### Focus on the Owner!!

赴任時にハマったという、中国茶。街に無数にある茶館で、淹れてくれるお茶とつまみをいただきながらウンチクを聞く。現地の人との関わりが楽しく、本場の茶器も買い揃えたそう。リビングにはお茶の神様・陸羽(りくう)の置物も！



すべての窓から北アルプス等の山々が望め、吹抜けに面したカウンターも開放感抜群。右手奥は幅広の建具でつながる寝室、左手は蔵書をまとめた書庫コーナー。



リビング脇のライブラリー。三畳の広さが、くつろぎの時間に丁度良い。



見る角度によって表情を変える、三灯の照明。黒のタイルの土間と一枚板のテーブルが空間を引き締める。

# いつも一緒に 自分時間を たのしむ家

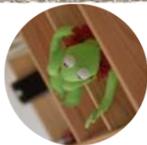


鉢植えを手入れする奥様の傍らで、ストーブの火加減を見守るご主人。いつも隣にいて、たいてい別々のことをしている。でもそれが、なにより心地良い時間。自分時間をふたりで楽しむ、ご夫婦の穏やかな暮らしにおじゃましました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.81



茅野市 K様ご家族/  
ご夫婦 2人住まい  
竣工/H27年11月 営業/藤原雄佐  
敷地面積/128.88坪 | C/奥村瑠美  
延床面積/31.30坪 施工/林 正義

**工房信州**との家づくりを決めたエピソードを教えてください！

**奥様** 家づくりを思い立ってまず諏訪住宅公園へ行き、土日の二日間公園内のほぼ全ての家を見学しました！中でも気に入った会社をもっと知りたくて、翌週、伊那と上田の展示場へ。二週間という短期間で集中して見学したので、各社の考え方や接客の様子など、比較検討しやすかったです。

**ご主人** 多くの家を見て、機械で管理する高気密高断熱の家が、外と繋がる環境共生型の家か…どちらも良さがあると悩みました。不安点をノートに箇条書きにして、二週間の最後にもう一度諏訪展示場へ。営業担当の藤原さんに質問をぶつけました。そのとき、何を聞いても答えてくれる真摯な姿勢が、最終的な決め手になりましたね。

土地探しにもこだわられたそう。ここでの暮らしはいかがですか。

**ご主人** 土地探しのテーマは、八ヶ岳を望めること。希望通りの土地を藤原さんに紹介してもらい、家じゅうどこからでも開放的な眺めを楽しめます。中でもとびきりの眺望が、1階の和室と2階の書斎コーナー。山並みはもちろん、東側の林も雰囲気良く、カモシカの姿を見かけたことも！背の高い木々は、夏は日差しを遮り、冬は落葉して光が差します。工房信州の設計デザインコードの考え方にぴったりの働きですね。

**奥様** 敷地も広いので、畑もやりがいがあります。園芸は本来私の趣味ですが、今は私が栽培プランを立て、体を動かすのは主人という役割分担に(笑)。突然の来客にも畑の野菜を手土産にできて便利です。

薪ストーブも当初は私の要望でしたが、今では主人の担当分野。斧での薪割がいい運動で、楽しいみたい。薪ストーブ料理も好きで、焼き芋・手羽先のカレー・ジャム作りなど…休日の凝った料理は主人が作っていますね。

**ご主人** 薪ストーブのある土間サロンは、工房信州の家を建てるなら必ず欲しいと思った空間のひとつ。今はフライデーナイトにゆっくり晩酌するのが楽しみです。いつかこの土間サロンで賑やかに宴会をしたいですね。この家を建てて、休日の過ごし方がガラリと変わりました。前はアパート暮らしで、家でグータラするかウィンドウショッピングに出かける位しかなかったのが、今は午前は家の仕事・午後はホームセンターに買い出しにと忙しい！夫婦それぞれにやる事がたくさんあって、濃い毎日を過ごしています。



趣味を楽しむ奥様と、それをそっと見守り続けるご主人。八ヶ岳を望むこの地らしく、自然を採り入れながら豊かに暮らしていただいています。



### Focus on the Owner!!

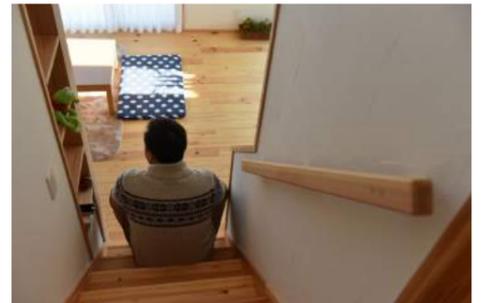
奥様の趣味のひとつが、多肉植物を育てること。お日さまの光と薪ストーブのぬくもりに包まれる土間サロンに、50以上の鉢植えが！手入れをするのにも、たまに外に出すのにも、土間はぴったりの空間！



三畳の和室は二面に窓が連なり、パノラマビューが自慢！建具の開閉でリビングと一体にもゲストルームにも使える。



汚れて帰宅しても、玄関からWIC(写真奥)を通して浴室に直行！裏動線があると、忙しい朝も家族の動きが重ならず便利。



階段の二段目に腰かけるのが、くつろぎの時間のご主人の定位置。リビングと土間と、庭と、その先の眺望をワイドに眺めるこの視線がいちばん好きなのだそう。

